

四季映える水辺のまち

市民の目でとらえた景観

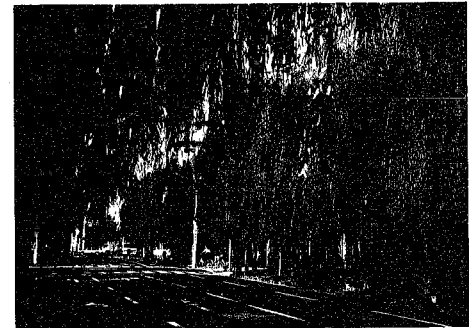
新潟市の景観特性

②たいらに広がる景観
平たんに広がる地形で、海岸の高台や展望台などから広々とした越後平野を眺めることができます。



「春の砂丘地」1部入選・田浦新吾さん

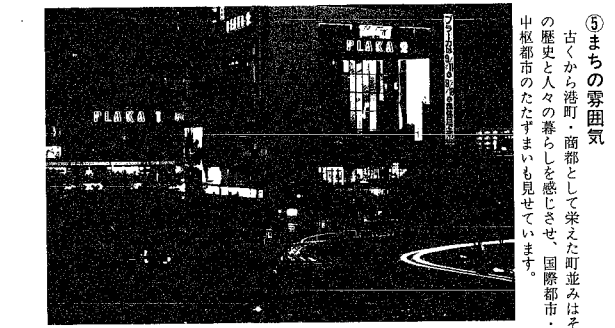
③うるおいをもたらす緑
長い海岸線の保安林、のどかな田園地帯、桜並木、街路樹など特徴的な緑が生活にとけこみうるおいを与えます。



「柳部の町並」1部優秀賞・横山嘉一さん

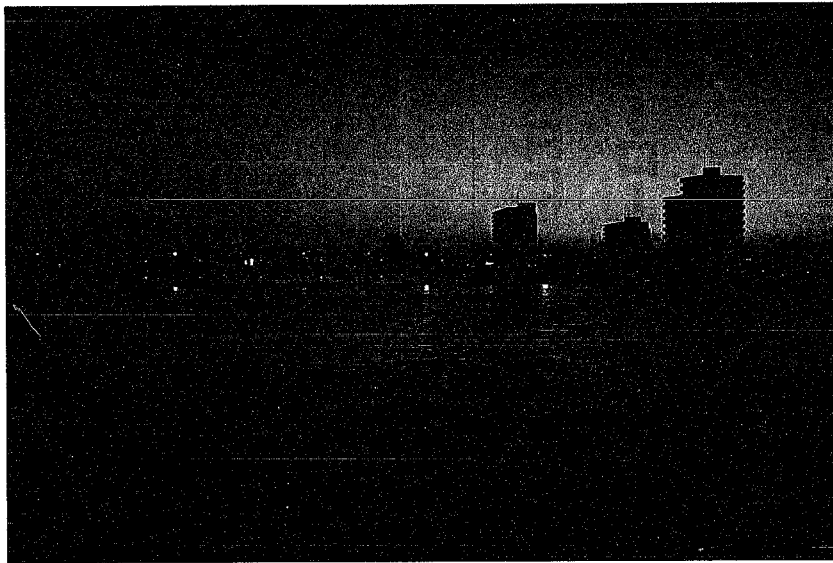


「鳥屋野湖の春」2部市長賞・青木丈夫さん



「鏡壁夕景」1部入選・佐藤健二さん

うるおいやすらぎのある快適な都市の創造に向けて、都市景観の果たす役割の重要性が高まっています。「これが新潟」「この景観があるから新潟といえる」…そんな新潟市の景観を形作る場所や情景を、市民のみなさんはどのようにとらえているのでしょうか。市で公募した景観フォトコンテストには、271点の応募がありました。その作品のなかから新潟の都市景観をひろってみました。

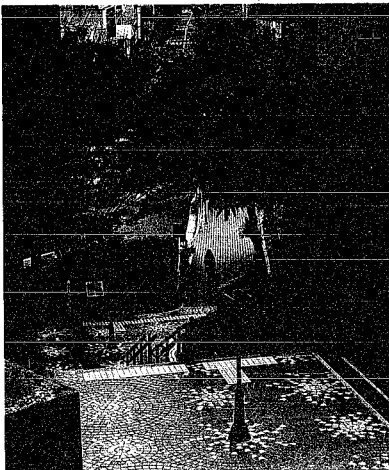


「しなのがわ暮色」1部市長賞・小柳清さん

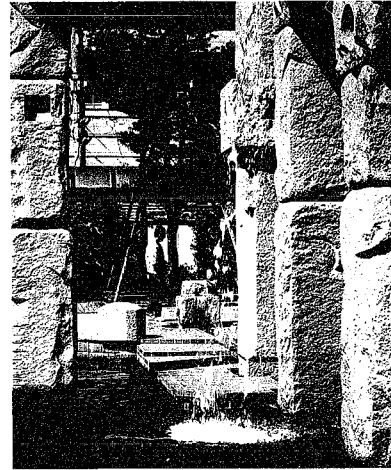
①水の都にいがた
市内のいたるところで、海・川・湖などの豊かな水に親しめます。かつての「水の新潟八千八川」のイメージ復元も図られています。

優れた都市景観をめざして

- 景観づくりのリード役として、公共施設は民間施設の手本となるように積極的な景観形成づくりをします。
- 優れた景観づくりのためには、一定のルールが必要です。このルールをもとに、みんなで景観づくりを進める必要があります。
- 市民一人ひとりの感性や創造力をいかした美しいまちづくりが大切です。景観づくりを支援する手だてを考え、景観づくりに市民だれもが参加できるように考えていきます。



「どっぺり坂」1部奨励賞・小熊寿美子さん



「お父さんと一緒」2部入選・柴田豊さん

景観を構成する要素

都市景観はいろいろな構成要素から成り立っています。活気ある商業地区、のどかな田園地区など面としてとらえる地区景観、河川、幹線道路など線としてとらえる軸線景観、学校、公園など点としての施設景観、それに、まちを演出するストリートファニチャーなどの演出要素や、夕日、人懐といったまちの雰囲気や情景をつくりだす情景要素というように、景観をつくりだす要素はさまざまにあります。



「新潟暮色」1部入選・福田治子さん

○情景要素
四季の景観、夕日、夜景、行事、市場、伝統産業など新潟らしい情景を大切にしたい。必要があります。

○歴史的建築など

旧税関庁舎や旧県議会議事堂など国の重要文化財、歴史的建築物はまちの景観に深みと新潟らしさを感じさせます。保全修復の検討が必要です。

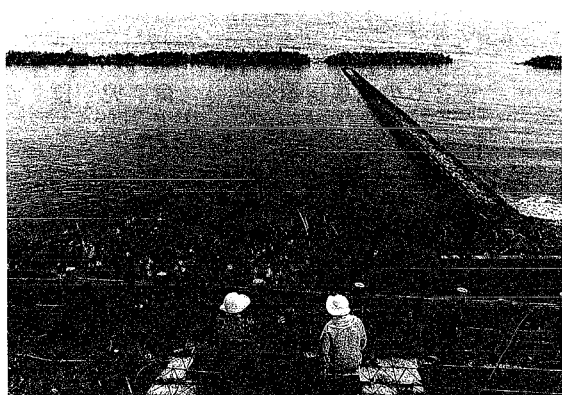


「秋の郷土資料館」1部応募作・高橋伸一さん



「港風景 (A)」1部入選・鎌倉正夫さん

○港湾景観
開港五港の一つとして栄え、日本海側ただ一つの特定重要港湾・新潟港。船に親しみ対外文化に触れられる、港を生かしたまちづくりが必要です。



「日和山海岸」2部奨励賞・田辺修三さん

○海岸景観
白砂青松、夕日の海岸、冬の荒波、市街地に近い貴重なレクリエーションとして、自然を生かすつ、海に親しめる景観づくりが必要です。

○生まれつつある景観
堀と柳のイメージ復元、万代橋ライトアップ、坂の整備などで新潟らしい景観をつくり出しています。住む人、訪れる人すべてに、美しい魅力的なまちといわれる景観づくりを行っています。